



2024年度冬のボーナス満額を勝ち取ろう！ シリーズ③

満額回答は可能だ！ 年末手当第2回団交

本部は本日、2024年度年末手当第2回団体交渉を開催しました。

本部は「今年度の第2四半期は、昨年度同期比を大きく上回る増収減益を計上した。これは、社員が安全・安定輸送を担ったからである。しかし会社は、第1回団体交渉で、『令和6年年末手当交渉 第1回発言要旨』に見られるように、内閣府の月例経済報告を引用し、世界経済の不透明さを強調した。その影響が具体的にどうJR東海に及ぼすのか、ハッキリしていない。これは、回答を低額に抑えるための口実だ。物価は上昇し続け、家計を圧迫している。極僅かなベアでは、実質所得は低下している。

4月～9月の好調な業績をたたき出したのは社員だ。無駄なリニアに投資するのだから、財政的にも充分すぎるほど余裕はある。苦勞した社員に報いるために、3.5ヶ月分と、新幹線開業60周年記念としてプラス10万円、更に専任社員にはプラス5万円の要求通り満額回答せよ」と、迫りました。

会社は「社員の苦勞は承知している。国内外の経済は依然不透明で、当社を取り巻く情勢は厳しい。増収減益だからといっても、業績連動ではない。第2四半期の業績は指標のひとつである。」などと否定的な発言を繰り返し、対立しました。

次回の団体交渉で11月12日の予定で回答が示されます。